

2005年1月18日

東レ株式会社

中国・儀化東レポリエステルフィルム有限公司における コンデンサ用ポリエステルフィルム生産設備の増設について

東レ株式会社と中国の化学コングロマリッドである儀化集团公司とのポリエステルフィルム製造・販売の合弁会社「儀化東レポリエステルフィルム有限公司(中国名:儀化東麗聚酯薄膜有限公司、所在地:中国江蘇省儀征市、略称:YTP社)は、このたび、中国におけるコンデンサ用ポリエステルフィルムの需要拡大に対応するべく、専用生産設備の増設を決定しました。増設するのは年産1,500トンの極薄コンデンサ用ポリエステルフィルム生産設備1系列で、主要機器については当社・滋賀事業場より移設します。投資額は1.5億元(約20億円)で、2006年初めの稼動開始を目指します。これによりYTP社のポリエステルフィルムの生産能力は22,500トンになります。

現在、中国のコンデンサ用ポリエステルフィルム市場は、家電・電子部品メーカーの中国進出に伴う海外コンデンサメーカーの追従と、現地コンデンサメーカーの拡大により急成長しています。今回YTP社で本格展開する極薄コンデンサ用ポリエステルフィルムは中国国内ではまだ供給メーカーはなく、海外メーカーからの輸入に依存しているのが現状です。YTP社は、コンデンサ用ポリエステルフィルムの中国への急速なマーケットシフトに対応するべく、東レから主要機器を移設することで工期の短縮を図り、早期に現地供給体制を確立します。同社は従来の包装用、工業材料用フィルムに加え、コンデンサ用途への本格進出により、2010年までに売上高約8億元(約100億円)への更なる事業拡大を目指します。

ポリエステルフィルムは、食品包装をはじめ、フレキシブル回路材料などの電気・電子部品、ディスプレイ関連の光学部品、コンデンサなどの工業材料用途、並びにコンピュータメモリーテープといった磁気材料用途等に幅広く使用されており、世界需要は年110～120万トンと推定されています。そのうち年20万トンの市場規模をもつ中国では、包装材料や工業材料を中心に年率10%以上の高成長が見込まれる一方で、コンデンサなどの電子部品関連用途でも高品質なニーズが高まっています。

東レグループのポリエステルフィルム“ルミラー”は、世界6極(日・米・仏・マレーシア・韓・中)で年産32万トン体制のもと、生産・販売ともに世界ナンバーワンの事業規模を誇ります。当社は2000年に同事業をグローバル規模で再編する「グローバル・リエンジニアリング」戦略を策定し、競合他社に先駆けて高効率かつ高収益な最適生産・販売体制を構築してきました。今回のYTP社における生産増強はその思想

を引き継ぐとともに、2002年から取り組んでいる経営改革プログラム“プロジェクトNT21”に基づく事業構造改革の一環にあたります。東レは今回の決定により、中国におけるポリエステルフィルム事業の橋頭堡であるYTP社の競争力強化を図る一方、滋賀は先端材料開発のマザー拠点としての役割を一層明確にし、日本国内ではフラットパネルディスプレイ(FPD)向け光学用厚物フィルムの生産拡充や、ナノ積層フィルム、ポリ乳酸(PLA)フィルムといった次世代商品の開発を推進してまいります。

東レは、2004年4月から“NT21”をブラッシュアップした中期経営課題「プロジェクトNT-II」をスタートして新たな飛躍を目指していく中で、ポリエステルフィルム事業では高効率かつ高収益な最適生産・販売体制の構築を推進する一方、東レフィルム加工株式会社を中核としたフィルム加工事業の育成拡大を推進し、世界のリーディングカンパニーとして一層の事業拡大を目指してまいります。

以上

<ご参考>

儀化東レポリエステルフィルム有限公司(YTP社)概要

1. 社名：儀化東レポリエステルフィルム有限公司 (YTP)
(中国名:儀化東麗聚酯薄膜有限公司)
2. 設立：2001年7月
3. 資本金：43.6百万US\$ (361百万元)
4. 出資比率：東レ50%、儀化集团公司50%
5. 代表者：総経理 邱達宏 (儀化集团公司出身)
副総経理 中村 時夫 (東レ株式会社出身)
6. 所在地：中国江蘇省儀征市
7. 生産能力：21,000トン(2005年1月現在)

儀化集团公司：

儀化集团公司はコングロマリットで、現在、ポリエステル事業(ポリエステル重合約150万トン、ポリエステル繊維約80万トン)は、その兄弟企業である儀征化纖股份公司(株式上場会社)が行なっています。

以上